

# 中屋敷・下在方面



引用元：Google社「Google マップ」

# ① 愛宕神社



御祭神 愛宕大権現（あたごだいごんげん）

軻遇突智命（かぐつちのみこと）

火産靈命（ほむすびのみこと）

鎮座地 伊達市霊山町掛田字八幡内61番地

火伏・防火に靈験のある神社としていられている。

神社には複数枚の棟札が現存する。

1号棟札 元禄3年（1690年）愛宕山大権現 一宮再建（山の上）

2号棟札 弘化5年（1848年） 二宮再建（現在地）

3号棟札 安政3年（1856年） 遷宮（現在地）

神仏分離令（明治元年・1868年）以前・江戸時代までは、京都聖護院に属し、山岳信仰と修験道を融合した祭神 愛宕大権現（勝軍地藏）として密航の不動明王・大日如来、そして阿弥陀如来等を祀り信仰されてきた。

門守家「文殊院」は愛宕神社に使える神官として支えた。

真言宗 弘法大師・湯殿山の石塔山頂付近にあり

軻遇突智命を祀る氏子54戸掛田字八幡内に鎮座す

## ② 淡島神社

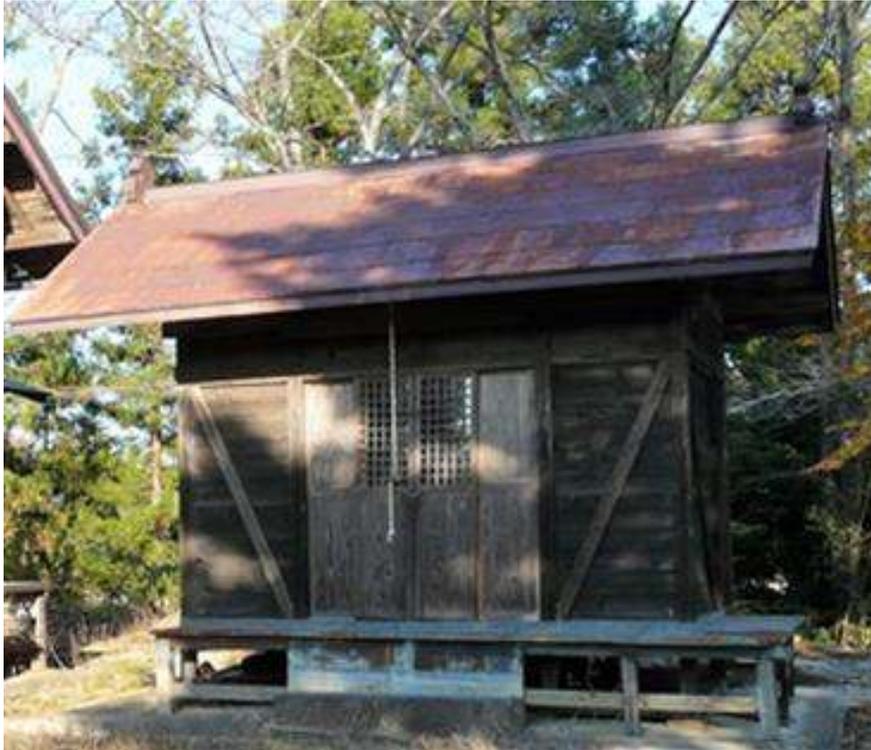


御祭神 少彦名命（すくなひこのみこと）

鎮座地 伊達市霊山町掛田字八幡内61番地

医薬の神様、女性の病気回復や安産・子授けなどの靈験あらたと伝えられる。  
人形供養の神社・針供養の神社として奉納物、絵馬等が祀られている。

# ③ 古峰神社



- ・御祭神 日本武尊（やまとたけるのみこと）
- ・鎮座地 伊達市霊山町掛田字八幡内61番地

こみね神社・ふるみね神社・こぶがはら様などと呼ばれる。

栃木県鹿沼市古峰ヶ原（こぶがはら）に総本殿が祀られている。

火伏の神・五穀豊穰の神として祀られている。

弘化4年再建 古峰神社（佐藤家祀る）

## ④ 愛宕神社 境内石塔石碑



- 御祭神 足尾大神
- 鎮座地 伊達市霊山町掛田字清水入7番地
- 愛宕神社境内に祀られている石塔と石碑
- 足尾山・大黒天・山津見神社
- 足尾神社は身体強健特に健脚の守護神
- 出征兵士、その家族の詣でることが多い、
- 武運長久も併せ祈願するもの。

取揚げの足尾様は出兵兵士の郷土見納めの坂でもあり、最後まで見送ってくださったところです。

# ⑤ 千尋観音（千色寺観世音）



- ・信達三十三札所観音 第二十八番
- ・鎮座地 霊山町掛田字千尋
- ・納経所 三乗院（曹洞宗）掛田字西裏6
- ・本尊 聖観本尊
- ・伝承 古くは千色寺と言う天台宗の寺院であったが、近世に至って天台系の修験本山派本明院が主管し観音堂のみ維持されたものである。

（出典：札所巡りより）

古いご詠歌 我がとがは ちいろなりとも かのほとけ  
あわれみ給い などかうかまん

## ◆千尋寺か千色寺か

古い御詠歌には「わが科（とが）」は、「ちいろなりけり」とあるのが多い。千尋と千色は発音が近いので両方を使用しているが、歌の意味からみるとちいろの咎（とが）いう意であろう。

山伏本明院は、千色寺、千尋寺両方を使っていたことが明らかである。

どちらが正しいかを証するものがない。

# ⑥ 愛宕山



掛田八景の愛宕山冬景色

## 懸田訓平先生の掛田八景の歌

1. 町田橋のホタル狩り
2. 茶臼山の桜花
3. 清水の井戸にカッコ鳥
4. 愛宕山の雪景色
5. 雷神様の藤の花
6. 羽山近くの館の跡
7. 三乗院の大杉
8. 八幡様の二葉の松  
(三浦平七様より提供)

# ⑦ 佐藤家八代

## 佐藤 友信について



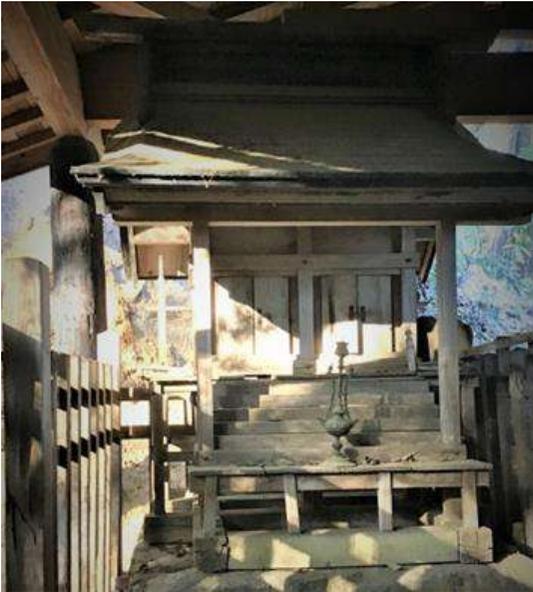
養蚕茶話記 掛田は江戸時代から養蚕が盛んで、日本最古の養蚕技術書の一つである「養蚕茶話記」(1776)の著者、佐藤友信を生んでいる。

友信の父祖三代にわたる「五十余冊の養蚕日記」の集約で表現は当時代、科学の最高水準と同じく冷静な観察によって叙述している。



「養蚕茶話記」が開花したのは、全国に冠たる養蚕・蚕種・蚕物の先進地という経済力の強い流れが郷民の生活を潤し、文化水準を高め、佐藤友信の学芸才智は和歌をよくし、連歌・俳諧に通じた文人で、四代にわたる川城屋養蚕秘法を録した「養蚕日記」の成果を凝集、開花させたものである。

## ⑧ 春日神社・黄金山神社 (川尻内)



- 鎮座地 福島県伊達市霊山町掛田字川尻内10
- 春日神社と黄金山神社とが並列で並び、先祖代々佐藤家の守り神として祀られている。
- 佐藤邦宏様宅 西上の山

## ⑨ 佐藤家一同の墓地（川尻内）



先祖代々の墓石群

- 佐藤家本家(佐藤邦宏氏宅)裏山ニヶ所に墓地がある。

- 佐藤総家初代佐藤信種

(瀬成田城主越中守 1476～1562 87歳)

伊達家に仕える

曹洞宗拈華山三乗院開基 天文元年(1532年)

法名 河東院殿逆流道順居士

2代 義信(伊達家に仕える)

3代 常信(通称 利右エ門)帰農する(農桑の道につく)

4代 秀信(通称 源兵衛)

5代・6代・7代・8代

第二墓地(9代 以降の墓地)

9代 佐藤友信 享保3年～天明6年(1718～1786) 69歳没  
養蚕・蚕種の製造販売、生糸真綿の取引等、白河藩の御用達  
家伝の蚕品種「野蚕」を改良、明和3年「養蚕茶話記」を著した。  
深く禅に帰依し、書をよくし、漢籍詩文に通じ、歌を詠んだ。

⑩

# 中屋敷 熊野神社(菅野家氏神様)



菅野家一同氏神様 脇に大国主の  
石塔竹藪伝えに歩いて横一列の墓  
石 河東院の大きな墓石 佐藤家一  
同初代の碑



菅野家氏神様 脇に大国主  
の石塔

# ①① 弁財天 (富山)



- 弁財天(富山) 故桑島正光宅より西山中腹  
眼下に岩代工業

文政建立 石塔5/2祭り 女

神様

- 辨財天神の碑
- 掛田字館178番地 引地松男様宅の裏山の中腹に、  
数多くの石碑が立ち並ぶ5坪程の広場がある。

この上段に 天保14年癸卯年 竹生嶋流

先師近江國 榊原左京大夫 藤原 保房

辨 財 天 神 9月26日

- 天保14年(1843年)今から164年前に建てられたもの  
と思われます。
- 大石広畑地内にも存在しますが、大石の記念碑は  
明治になって建てられたものと思われます。

## ⑫ 湯殿山と庚申様



岩代工業敷地西側道路脇に石塔があり、湯殿山と庚申様が祀られています。